

## 和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ 第9回（10月6日）開催記録

「和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ」の最後となる合同会議が、10月6日（水）午後6時30分より、和歌山市役所14階大会議室で開催されました。

合同会議では、6月から始まったワークショップで4つのテーマグループに分かれて討議してきた内容のまとめを各グループが発表し、成果報告を行いました。

その後、総括コーディネータである和歌山大学経済学部助教授の足立基浩氏による講演が行われました。

### 開会のあいさつ（和歌山市理事）

みなさんこんばんは。本日はお忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。和歌山市理事の松見と申します。まず始めに6月2日に始まりましたワークショップ、本日で9回目を迎えるということをございまして、その間ワークショップにご参加いただきました24人の市民の皆様には本当にご苦労さまでした。また総括コーディネータの足立先生をはじめ、ファシリテータの皆さん、またTMOなど協働スタッフの皆さん本当にご苦労様でした。本当に感謝申し上げる次第でございます。

私も市役所の中で、10年ほど商工振興課というところに在籍しておりまして、中心市街地の動きを見てきたうちの一人でございます。そんな中で反省点といいますかいろいろ感じますところは2点ほどございまして、ひとつはハード面の整備だけではお客様を呼び込むことは非常に難しいということです。中心市街地では京橋のプロムナード、本町の共同溝工事、掘詰橋とかいろんなハード面の整備はしたのですが、なかなか行政の思うようにはいっていないようです。もう一つですが、行政主導だけではなかなか限界があると感じております。今までいろいろ計画してきましたが、市民の皆様の意見をお聞きしながら市民の皆様のニーズを的確に捉えることができなかったという反省点も感じています。

そのような訳でワークショップという形をとらさせていただいて皆様にご苦労いただき、本日提案をいただくわけですが、本当に感謝しております。今度の基本計画につきましては、5ヵ年計画ということで期限を限っております。5年後には和歌山の中心市街地はよくなったなど、目に見える形が変わったなどとなりますように、行政も努力したいと思っておりますので、皆様方どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

### ワークショップの成果発表

6月2日の第1回ワークショップに始まり、第2回から第8回ワークショップまで計7回のワーキングでグループ討議等を行い、中心市街地活性化基本計画（改訂版）素案に組み込むための事業を考えてきました。

合同会議では、考えてきた様々な事業を各グループがまとめものを「ワークショップからの提案」として、グループの代表者が、ワークショップのメンバーや傍聴に来られた方々、市の中心市街地活性化推進協議会委員などに発表しました。



各グループからの提案は次のとおりです。

## Aグループ(個店の魅力で人を惹きつけるまち)

発表者：川口美智子

- 発表事業 ① 「まちづくりのテーマの策定と遵守」事業  
② 個店力アップ事業  
③ まちの新陳代謝促進事業～空き店舗対策等を検討する特命チーム～

⇒ [事業の内容](#)



## Bグループ (お気に入りの風景やスポットのあるまち)

発表者：永井 択

- 発表事業 ① ふうけい. com 事業  
② まち風景地図作成事業  
③ まち風景問題解決事業  
④ 規制整備事業  
⑤ ハード整備事業

⇒ [事業の内容](#)



## Cグループ (長い時間ゆっくり過ごせるまち)

発表者：徳田直季

- 発表事業 ① 「青空ギャラリー」整備運営事業  
② 「滞留環境」整備誘導事業  
③ 「歩行環境」整備事業

⇒ [事業の内容](#)



## Dグループ (高齢になっても生き生きと暮らせるまち)

発表者：栗須太器治

発表事業 和歌山陽だまりのまちづくり

- ① タウンモビリティ導入 - タウンモビリティを考えるまちづくり人づくり塾開催事業
- ② タウンモビリティ導入 - 店舗内バリアフリー化促進事業
- ③ タウンモビリティ導入 - 電動スクーター配置 (確保) 事業
- ④ 「心のさしかけ」設置事業
- ⑤ こども村づくり促進事業
- ⑥ わかやま里花づくり推進 - フラワー玄関口整備事業
- ⑦ わかやま里花づくり推進 - 元気の素循環事業

⇒ [事業の内容](#)



## 総括コーディネータ(足立基浩氏)の総評

各グループからの発表を受けて、市民ワークショップ全体のまとめ役である総括コーディネータの足立基浩氏（和歌山大学経済学部助教授）による総評として、講演が行われました。

概要は以下のとおりです。

### 【市民提案のまちづくり事業－ワークショップを振り返って－】

#### ○ 全体の感想

- ・ 低予算で市民参加型の事業が多いのが特徴。いくつかは他府県での先進事例もある。
- ・ ユニークな試みも多く、市民のやるべきこと・行政のやるべきこと・TMOのやるべきこと等が明解でわかりやすい。
- ・ 「この店のこの逸品」ということで商品の調和・競争力を高める「逸品倶楽部」、大好きな風景・スポットをインターネット上でPRする企画「ふうけい.com」、高齢者の移動手段に着目した「タウンモビリティ」、また水と緑に囲まれた「オープンカフェ」など既存の緑地・オープンスペースを利用した試み等、どれも有用性が高く市民主導の試みが多い。
- ・ 実現に向けて、一番難しい部分が「母体となる主体の組織化」であるが、事務局をある程度統一（TMOに一元化）させて、その制度インフラを行政が行うようにすれば良い。事業は年度を区切って行えば事業リスクも低くなる。市民は「利用・参加」を主としてアイデアも市民発で行うルール作成が必要。行政も法律的に可能な部分を積極的に探すなどの支援が必要。

#### ○ グループごとの講評

##### Aグループ（個店の魅力で人を惹きつけるまち）

「まちづくりのテーマの策定と遵守」事業について、ここではもう少し突っ込んで企画・販促などを行う場としてこの会を利用するのはどうか？成功例としては東京都台東区谷中銀座商店街がある。

更に発展させる一案として、「競合的な店を2店ずつ借地利用形態で貸し出す」ということにしてはどうか？借地借家を行う場合、行政が中間に入って土地の貸し借りをを行うシステムも有効と思われる。

いずれにしても適度な競争と販売促進が重要なテーマである。実現可能性も高い。

##### Bグループ（お気に入りの風景やスポットのあるまち）

「ふうけい.com 事業」を中心として、風景地図作成、問題解決事業、規制整備事業という「ソフト」で問題提起をして、最終的に「ハード」整備を計画する試みは面白い。例えば、長野県飯田市の場合は昔から市民からお気に入りのスポットとして親しまれてきた「リンゴ並木」について市民フォーラムで話し合い、その結果「歩行者優先」というソフト・ハード面での整備を行った。

今後の展開としては「ふうけい.com」事業の管理・運営主体の組織化、市民啓発活動の形の模索などが行われる必要がある。「まち風景問題解決事業」は興味深いですが、組織の面では「個店の魅力、回遊性」と関係しているためにここの連携を図る必要がある。「ハード整備事業」については、様々な補助金、特に国や県からの可能性も模索する必要があるだろう。

##### Cグループ（長い時間ゆっくり過ごせるまち）

滞留環境整備誘導事業の実現可能性は高く、起爆剤となる可能性は高い。青空ギャラリーはベンチと絡めて行えばさらに発展するであろう。歩行環境もバリアフリーの視点からは望まれるが、これはDチームとの連携が必要。他の都市の事例を見てもわかるようにコストが安く効果が大き

い試みの一つである。行政の協力が不可欠である。

行政は：1.法的規制の緩和，2.公的实施主体，3.社会実験によりコンセンサスを得る→実験的な実施を行う，などが必要。

#### Dグループ（高齢になっても生き生きと暮らせるまち）

タウンモビリティという新しい視点から街の活性化を図っている点が面白い。高齢者の「移動」という視点を捉えた試みはとてもユニークである。これに加えてボランティアベースのスタッフなどを動員して高齢者の買い物補助などを行う（既に四国の自治体で実施）なども可能である。

バリアフリー化についてはAグループとの連携も必要である。費用・協力については民間企業からの寄付・協力を募ればよい。海外で企業が地域貢献事業を行うのは当たり前になっている。

また、「心のさしかけ」事業はさらに発展させて高齢者のショップ事業を行うのも良い。作業する人がいてそこが溜まり場になれば目的意識が生まれる。

子供の事業についてであるが、これはネタが重要である。滋賀県八日市市では世界妖怪会議と称して昨夏、イベントを催し大成功となった。

また、フラワー事業は和歌山市には母体もあるので実現可能性はきわめて高い。ただし、長期的な管理問題に関しては行政との連携が必要となってくるであろう。

生ゴミについては、先進事例として名古屋の大門商店街が挙げられる。ここは大門エコ商店街（月2回、リサイクルステーションを設けている、2000年からはエココインも始動）として売り出しており注目を集めている。



### **閉会のあいさつ(和歌山市理事)**

皆様、遅くまでどうもありがとうございました。最後にごあいさつを申し上げます。

始めに4人の提案者の方々には、多彩な発表をしていただきましてありがとうございました。行政などでは考えられないようなアイデアとか見かたを聞かせていただきました。

Aグループの川口さんからは斬新なキャッチフレーズを設定する，Bグループの永井さんからはまちを風景として見る，Cグループの徳田さんは青空ギャラリーやオープンカフェとか，Dグループの栗須さんはタウンモビリティやこども村事業といったユニークな提案を聞かせていただきまして感動いたしました。

これらの提案は非常にハードなスケジュールの中で努力していただきまして、そして熱意を持って発表していただいたと思います。

足立先生には総評をいただいた訳ですが、商店街の勝てるところを生かす、行政と企業等民間の協力が必要だという事もおっしゃっていただきました。また、事例を含めまして専門的な立場から講評いただきましてありがとうございました。足立先生には、今後開催します策定委員会の委員長となっていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日皆様方にご参加いただきましたが、今後とも計画策定につきましては、皆様方のご協力をいただきながら行って参りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

